

前文 第9期北海道総合開発計画の策定に当たって

第1章 計画策定の意義

第1節 北海道開発の経緯

- 1. 北海道開発の歴史
- 2. 第8期北海道総合開発計画の経緯

第2節 第9期北海道総合開発計画の意義

第2章 計画の目標

第1節 我が国を取り巻く状況

- 1. 人口減少・少子高齢化と人口動態の変化
- 2. 気候変動と自然災害の激甚化・頻発化
- 3. 社会を変えるデジタル技術
- 4. 国際情勢の変化

第2節 北海道の資源・特性

- 1. 広大な大地
- 2. 食料供給力
- 3. エネルギー・資源
- 4. 自然環境・文化
- 5. 地理的特性・寒冷地技術

第3節 2050年の北海道の将来像

- 1. 国の課題解決のために果たすべき役割
- 2. 将来像
- 3. 将来像を支える社会基盤
- 4. 将来像を実現するために進むべき方向性

第4節 第9期北海道総合開発計画の目標

- 目標1「我が国の豊かな暮らしを支える北海道
～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道」
- 目標2「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造
～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり」

第3章 計画推進の基本方針

第1節 計画の期間

この計画の期間は、2024年度からおおむね10年間とする

第2節 計画の主要施策

第3節 計画の進め方

- 1. リアルとデジタルのハイブリッドによる北海道型地域構造の保持・形成
- 2. 計画の実効性を高めるための方策
 - (1) 官民の垣根を越えた「共創」
 - (2) 社会変革の鍵となるDX・GXの推進
 - (3) フロンティア精神の再発揮
 - (4) 戦略的・計画的な社会資本整備
- 3. 計画のマネジメント

第4章 計画の主要施策

第1節「我が国の豊かな暮らしを支える北海道～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道」に係る主要施策

- 1. 食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的な発展
- 2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり
- 3. 地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現
- 4. 地域の強みを活かした成長産業の形成
- 5. 自然共生社会・循環型社会の形成
- 6. 北方領土隣接地域及び国境周辺地域の振興
- 7. アイヌ文化の振興等

第2節「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり」に係る主要施策

- 1. デジタルの活用による生産空間の維持・発展
- 2. 多様で豊かな地域社会の形成
- 3. 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成
- 4. 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

「他で代替できない北海道の価値」を最大化し、現下の国の課題解決を先導

食料安全保障

全国約24%の食料生産（カロリーベース）

生産量全国一の農畜産物・水産物
小麦、ばれいしょ、たまねぎ、生乳等
ホタテ、タラ、サケ・マス、ホッケ等

観光立国の再興

感染症拡大前の直近5年間で
来道外国人旅行者数 164万人増
（平成26年137万人⇒令和元年301万人）
都道府県魅力度 15年連続全国一

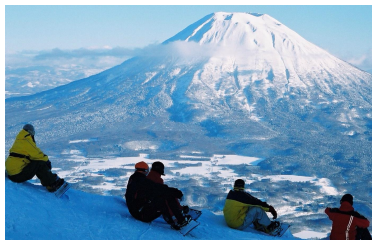
2050カーボンニュートラル

全国一の再生可能エネルギー賦存量
洋上風力、陸上風力、太陽光、
森林吸収、バイオマス、
ブルーカーボン、中小水力

北海道のポテンシャルを活かし、我が国の豊かな暮らしを支える
～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道～

主要施策

- 1. 食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的发展
- 2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり
- 3. 地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現
- 4. 地域の強みを活かした成長産業の形成
- 5. 自然共生社会・循環型社会の形成
- 6. 北方領土隣接地域及び国境周辺地域の振興
- 7. アイヌ文化の振興等



観光資源JAPOW（Japan Powder Snow）



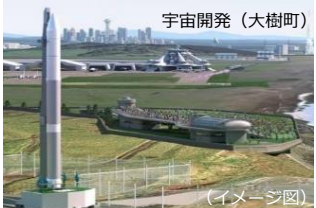
民族共生象徴空間ウポポイ（白老町）誘客促進



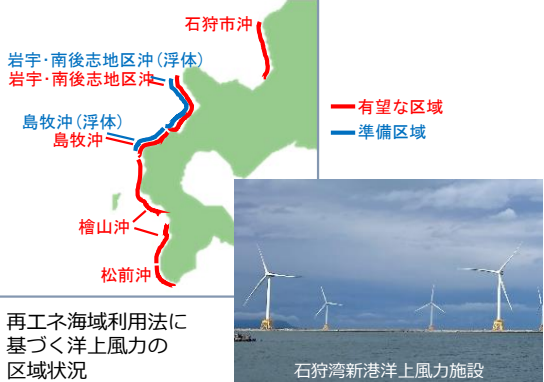
※ 北海道開発局は地方整備局の機能に加え、農業基盤整備を所掌



出典：Rapidus株式会社作成 作図協力 鹿島建設



出典：SPACE COTAN株式会社



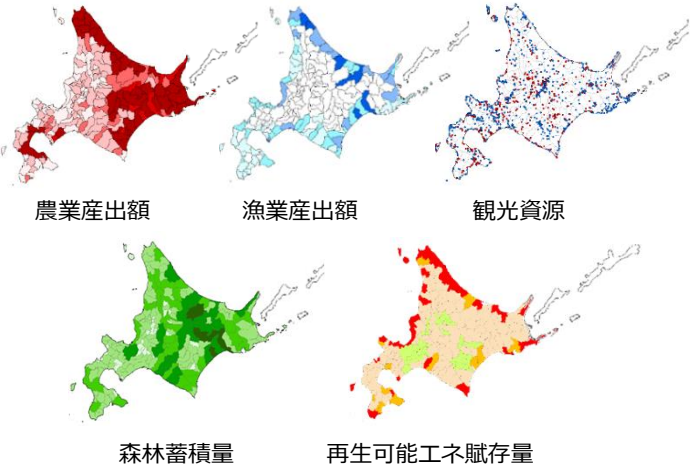
再エネ海域利用法に基づく洋上風力の区域状況



石狩湾新港洋上風力施設

北海道の価値を生み出す生産空間の定住環境を維持

北海道の価値を生む「生産空間」の分布



北海道の生産空間の構造的課題【定住環境の厳しさ＝二重の疎】

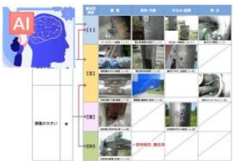


+ 積雪寒冷の厳しい気候、千島海溝地震の切迫

北海道の価値を生み出す北海道型地域構造の維持
～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり～

主要施策

1. デジタルの活用による生産空間の維持・発展
2. 多様で豊かな地域社会の形成
3. 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成
4. 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり



AI活用によるインフラ維持
管理の効率化
(北大情報科学院との連携)



高規格道路の整備促進



対2024年問題対策
「北海道物流WEEK」
(令和6年2月19日～22日)

教育委員会との連携
「ほっかいどう学」の展開



千島海溝地震による津波避難対策特別強化地域 (39市町)



避難施設の計画・建設